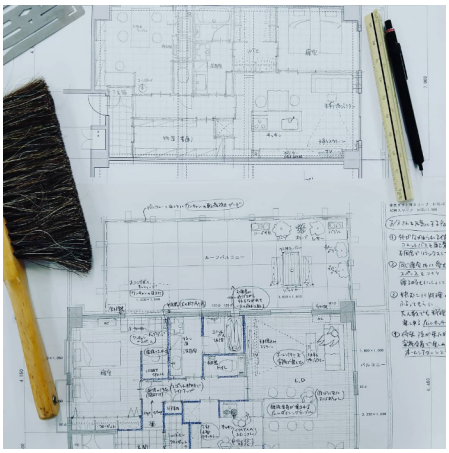
シニア世代へのリフォームのススメ

先月8月は**夏休みの自由研究特集**ということでイベントにも子供たちに来て頂き、盛況なイベント月間となりました。今回は子供が独立した**シニア世代向けのマンションリフォーム**に関してお話し致します。

家族構成に変化が生じるシニア世代

分譲マンションの多くは2、30代の4人家族を想定した間取りで販売されております。いわゆる**3LDK**という間取りで、**主寝室**と**子供部屋2部屋**の3部屋とリビング・ダイニング・キッチンとなります。少し古いマンションであれば、主寝室に使える部屋はリビング横の6畳程度の**和室**となっているのではないでしょうか？購入した当初はそれで十分だった間取りも、子供が独立して夫婦二人で生活するようになるシニア世代にとっては、人によってはかつては**子供部屋**で使っていた部屋が、**物置**スペースに変わりせっかく広くなった**スペースの有効活用**が出来ていないご家庭も多いかと思います。

マンションリフォームの希望の中でも多いのが、**和室の畳をフローリングに変えて、リビングを広げ**、元子供部屋を夫婦の寝室に変更するというものになります。



住宅設備の耐用年数

また、**キッチン**や**ユニットバス**の交換もよくある**リフォーム工事**となりますが、果たしてこういった設備はどのくらいの期間を目安に交換した方が良いのでしょうか？

商品としての**耐用年数は10数年**と一般に言われてますが、実際には**30年以上**使用されている方も多く、壊れた部分を交換すれば相当な長期に渡り使用可能です。

ただ、こういった設備は日進月歩のスピードで新商品が開発され、最新の物は著しく**使い勝手が向上**しておりますので、他の部屋のリフォームと合わせて交換をご検討してみるのもお勧めです。

内装の耐用年数

壁紙や**フローリング**などもメーカーとしては**10年程度**の耐用年数で商品開発を行っており、**20年**も使っていると部分的に剥がれてきたり、摩耗が激しくなります。住宅設備同様に**生活には支障はない**のですが、リフォーム後の**快適さ**を考えると、新築当時から20年以上経過された様なシニア世代はリフォームを考えるタイミングとしては最も適しております。

今回は**シニア世代向けのマンションリフォーム**についてお話させて頂きました。

スムスビでは今回の記事の様なリフォーム工事のご相談を承っておりますので、是非お気軽にお問い合わせ下さい。

スムスビ通信

VOL.7

ホームページはこちら

【編集後記】皆さま夏休みはどう過ごされたでしょうか？スムスビ野口は事務所での親子向けイベントの他に子供が通っている幼稚園と知人のお店で親子向けのワークショップを行わせて頂きました。外での出張イベントは準備も大変で、直前まで後悔の念しかなかったのですが(笑)いざやってみると参加した方にも主催者側にも感謝され、普段では知り合えない「新しいご縁」も頂き、改めてこういった機会を頂けた事に感謝をする夏になりました。

スムスビ 一級建築士事務所では<u>ご自宅のリフォームやリノベーション</u>のご相談を承っております。

キッチンの交換や部屋の一部をリフォームする**「小さなリフォーム工事」**からを家全体をリフォームする**「大きなリフォーム工事」**まで、設計と施工を全て自社で行っております。

小豆沢スポーツ公園のそばに築30年のマンションをリノベーションした<u>モデルルーム</u>をご用意しておりますので、ご自宅のリフォームの参考に、是非、ご見学にお越しください。

※なおDMが不要な方は、大変お手数ですが下記メールアドレスまでマンション名と部屋番号を明記の上送信いただけると今後の配信を中止させて頂きます。e-mail ： info@sumusubi.com

DM配信停止メールはこちらから